

セネガル共和国ジャムナジヨ（Diamniadio）の食品冷蔵施設における自然冷媒を使用した省エネ型冷蔵施設及び太陽光発電の導入



- セネガルの増加する人口の半分以上が居住する首都エリアでは、需要が高まる生鮮食品（農産物、魚肉類等）の生産地から消費地への配送、保管等のコールドチェーンによる適正な温度管理が不十分な状況にあり、地元農産物生産者の市場獲得機会の逸失だけでなく、本来であれば市場に供給されるべき食料が廃棄されてもいる
- このため、適切なコールドチェーン設備の導入により、CO2排出量を抑制しつつ、生鮮食品の安定供給を実現することは、地元農産物生産者の市場アクセスと収入を改善するだけでなく、食品廃棄量の減少等の実現にも貢献できる
- 首都近郊の幹線道路及び空港に近い物資輸送の要衝において、環境省のUNIDO拠出金を活用し、食品冷蔵施設における自然冷媒を使用した省エネ型冷蔵施設及び太陽光発電の導入プロジェクトを実施することに両国政府が合意

プロジェクトの概要

- ・ セネガルを含む北西アフリカでの新規の生鮮食品コールドチェーン事業を実施するIfria Senegalと株式会社SDGインパクトジャパンが共同で実施。
- ・ セネガル近郊の物資輸送の要衝であるジャムナジヨにおいて新設される食品冷蔵施設において、自然冷媒を使用した省エネ型冷蔵施設を導入するとともに、食品冷蔵施設の屋根に太陽光発電設備を併せて導入する。

プロジェクトサイトの位置と予定地

